

様式第三

認定事業再構築計画の内容の公表

1. 認定した年月日 平成16年3月22日

2. 認定事業者名 株式会社岡山国際ホテル

3. 認定事業再構築計画の目標

(1) 事業再構築に係る事業の目標

株式会社岡山国際ホテルは、岡山県内における本格的ホテルの草分けとして開業し、現在に至っているが、近年、岡山市内での新設ホテル建設ラッシュやバブル崩壊後の低マイナス経済成長に対する設備・経費両面での対応が立ち後れたため、業績が低迷し、過剰な有利子負債を抱えている。

そこで、土地・建物等の資産を適正な時価に減損し、既存株主の99%減資、各金融機関からの債権放棄による負債額の縮減、増資による資本の増加によって、経営基盤を強化する。

また、平成16年3月に空路岡山上海線が定期便化されるのを契機として旅行代理店が実施する招聘事業を通じて外国人旅行者に対する新商品企画・販売の強化を図る等新商品の開発により、売上高の向上に取り組む。

(2) 生産性の向上を示す数値目標

生産性の向上としては、従業員一人あたり付加価値は、平成14年度に比べて平成17年度で10.04%向上する目標とする。

4. 認定事業再構築計画の内容

(1) 事業再構築に係る事業の内容

中核的事業

ホテル事業

選定理由

株式会社岡山国際ホテルは、岡山県内において最も格式の高い本格的ホテルとしてブランド力を有しており、また県内で最大規模の宴会場所所有等ホテルとしての営業基盤を有している。東京の有力ホテルの営業・運営・サービスにおけるノウハウの導入により、さらなるブランド力の向上に加えサービスの質の向上により利用者の確保が見込まれ、財務リストラが実行されれば十分に収益力を獲得できることから、引き続きホテル事業を中核事業として位置付けた。

事業再構築に係る事業の内容

イ. 事業構造変更

(株)岡山国際ホテルは、ホテル事業を中核的事業として位置付け、過剰な有

利子負 債を抱えていることから、債権放棄による金融支援及び減資、増資に
よって、経営 基盤を強化する。

ロ．事業革新

平成 16 年 3 月 28 日に空路岡山上海線が定期便化されるのを契機とし
て、岡山 県や観光連盟が推進する「国際観光インバウンドツアー」に参画し、
旅行エージェ ント招聘事業を通じて外国人旅行者に対する商品企画・販売の
強化を図るとともに、 岡山における地産地消を推進しつつ外客のニーズにき
め細やかに対応した料理を売 り物にした宿泊プランの提供など、中四国、瀬
戸内海における宿泊拠点として本格 的に外客誘致に取り組むことを目的とし
た事業であり、平成 18 年 3 月期には、こ れにかかる外客売上高を総売上高
の 1.2%を目指す。

(2) 事業再構築を行う場所の住所

岡山県門田本町 4 - 1 - 16
株式会社岡山国際ホテル

(3) 事業再構築を実施するための措置の内容

別表のとおり

(4) 事業再構築の開始時期及び終了時期

開始時期：平成 16 年 4 月
終了時期：平成 18 年 3 月

(5) 事業再構築に伴う労務に関する事項

事業再構築の開始時期の従業員数（平成 16 年 3 月末時点）	147 名
事業再構築終了時期の従業員数（平成 18 年 3 月末）	147 名
事業再構築に充てる予定の従業員数	147 名
のうち新規に採用される従業員数	0 名
事業再構築に伴い出向又は解雇される従業員数	0 名